



子どもの貧困を考える ネットワークニュース

2018年6月号

隔月発行

発行：子どもの貧困問題

大阪ネットワーク理事会

大阪府歯科保険医協会

子ども食堂で歯科検診



当会の加盟団体である大阪府歯科保険医協会（以下、協会）は6月22日、堺市西区のさくらの庭子ども食堂、ともちゃん子ども食堂で歯科健診を実施しました。健診には、協会理事の江原豊氏（堺市開業）と耳原歯科診療所の歯科衛生士2人が参加。食事の前に江原氏が子どもたちの口腔内をチェックし、食後に歯科衛生士が歯の模型や紙芝居を用いて正しい歯みがきのやり方を指導しました。

虫歯が10本以上ある子どもも…

歯科健診を受けた9人の子どもたちのうち、多数のむし歯がある子どもが3人。なかには10本以上のむし歯がある子もいました。

さくらの庭子ども食堂を運営する石丸英樹氏は、「（10本以上のむし歯があった子は）親が子どもへの関心が薄い。歯みがきの習慣もないのではないか。」と話しました。むし歯が多い子どもたちは、早期の治療が必要です。しかし、親の同意が無い状態で歯科医院を受診させることは困難であり、子どもと直接対峙する関係者は歯がゆい思いをしています。「親へのアプローチは難しい。やり方を間違える

と子ども食堂にも行くなと言われかねない。」石丸氏は子どもたちへの支援の難しさを指摘します。

この健診をきっかけに両子ども食堂では、歯みがきの時間を設ける予定。石丸氏は、「子どもたちが歯みがきをする習慣を身につけるきっかけになれば嬉しい」と語りました。

さくらの庭子ども食堂と、ともちゃん子ども食堂

さくらの庭子ども食堂と、ともちゃん子ども食堂は斜向かいに立地しており、第二金曜にはさくらの庭が、第四金曜にはともちゃんが子どもたちに食事を提供しています。参加費は、子ども100円、大人300円。毎回、10人前後の子どもたちが参加しています。ともちゃん子ども食堂が開かれる第四金曜には、さくらの庭子ども食堂で学習支援を実施。学校にいけていない子どもらに対して、学校と連携を取りながら勉強を教えています。



ニュースに関する問い合わせ
niki@osaka-jichiren.jp

平野みんな食堂ネットワークの紹介 ～ボランティア活動に参加して～

2018年2月にある生協の学習会で藤永延代副理事長が講演された「大阪の子どもたちの貧困の実情」を聞いて、私自身も小学生の3～4年の時に似たような経験をしており、「ジブンゴト」のように感じました。そこで、即時個人加盟をすると同時に、その生協の紹介で「平野みんな食堂ネットワーク」の連絡会にも出席することになりました。

その連絡会に参加していたみんな食堂の1つである「みんなの食堂みどりのにわ」にボランティアとして月に1～2回参加することになりました。

平野みんな食堂ネットワークとは

NPO法人キャンピズが大阪市平野区からの委託事業として、もと平野青少年会館を活動拠点に、2017年4月から運営しています。2か月に1回開催される連絡会の主要参加者は、平野区役所、各地域の福祉協議会、地域活動協議会、大学生や個人のボランティア、及び「みんな食堂」の13の運営者（5月現在で、調整中も含む）です。

5月の定例連絡会で提示された2018年度の主な事業計画は、3つの定例会議の開催、定例とスポット合わせた5種のイベント開催、及び3つの広報・周知・啓発活動。

子ども食堂でのボランティア活動

JR大和路線加美駅の南にある「みんな食堂みどりのにわ」は2017年7月にスタートし、毎月第2・第4月曜日、17時30分から19時30分までオープンしました。通常のスタッフは、運営者2名、地域のボランティア3～5名で、筆者は主に配膳役です。

利用者は、大人と子どもや子ども同士のグループが多く、中には高齢者、大人だけ、赤ちゃん連れなどもおります。メニューは2種類で、小学生以下は無料となっています。2時間での利用者数は日によって25～88名と変化しますが**大盛況の感**があります。

ボランティア活動の感想

- ① 平野みんな食堂ネットワークの連絡会は、多様なバックグラウンドをもった参加者が具体的で身近な話題について情報収集や課題解決を行うための貴重な「場」になっていると感じました。
- ② 子ども食堂の利用者数が最多と最少に大きな幅があり、予測の難しさを感じました。加えて、利用者数が多い時にはボランティアが少なく、少ない時にはボランティアが多いというジレンマも見受け、**運営者の苦労**が身につまされました。
- ③ 困難なことも多々ありますが、子ども食堂での子どもたちがワイワイガヤガヤと楽しそうに交流し、ママトモの話がはずむのを見て**意義の大きさ**を感じました。

子ども貧困ネット活動紹介

子ども貧困ネットでは、①調査活動②子ども食堂③学習支援活動の3つのワーキンググループを軸に子どもの貧困の実態を掴み、発信し、自治体との交渉、政策提言を行っていきます。

今後、府内で活動する諸団体への訪問や、子ども食堂など実践者交流会、市町村へのアンケート調査などを予定しています。

【7月度会議及び今後の日程】

- 07/06 大阪の子どもたちの貧困を考える学習会
- 07/12 三役会議
- 07/17 子ども食堂交流会第1回準備会
- 07/29 大阪地方自治研究集会
「子どもの貧困問題」分科会
- 07/30 理事会
- 12/09 子ども食堂実践者交流会

7/29(日) 13:30～

大阪地方自治研究集会

「子どもの貧困問題」分科会

会場 大阪グリーン会館 2階 **参加費 500円**

* 大阪市北区天神橋 1-13-15

地下鉄南森町駅「4-B 出入口」より南へ徒歩5分

☆学習講演:「子どもの貧困問題を理解する」

講師: 志賀信夫氏(長崎短期大学)

☆特別報告(4本)

『「子ども食堂」より』 「自治体福祉職場より」

「学校健診調査からみた実態」

「門真市『子供の未来応援ネットワーク事業』について」